

ブエノスアイレスの夜 (2001)

VIDAS PRIVADAS

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アルゼンチン／スペイン

時間 105分

初公開日 2004/12/11

公開情報 アット エンタテインメント

映倫 R-18

【キャッチコピー】

孤独の果てに、あなたがいた――。

【解説】

“声”をきっかけに、禁断の愛へ落ちていく男女の情熱的で切ないラブ・ストーリー。心に傷を負った女性と青年の哀しくも濃密な恋愛と宿命を描く。監督は本作で劇場長編デビューのフィット・パエス。主演は「オール・アバウト・マイ・マザー」のセシリア・ロスと「アモーレス・ペロス」のガエル・ガルシア・ベルナル。

スペイン・マドリードに住む42歳の女性カルメン。アルゼンチン貴族の娘である彼女は、1976年に起きた軍事クーデターによって故郷を離れ、冷たく心を閉ざしたまま独りで生きてきた。また、当時の過酷な経験から人を精神的にも肉体的にも愛することが出来なくなり、聴覚だけが異常に敏感になってしまっていた。そんなカルメンはある日、病床の父を見舞うため、20年ぶりに帰郷することに。そこで、彼女はかねてから楽しんでいる独特な性的遊びに興じるため、家族には秘密でアパートを借りる。その性的遊びとは男女を隣室に呼び、壁越しに愛の営みを聞くことだった。そしてさっそく知り合いの愛人斡旋業へ連絡すると、若い男性の“声”が。その声に異常な関心を抱いたカルメンはやがて、声の主である男娼のグスタボを隣室に呼ぶのだが…。

【クレジット】

監督	フィット・パエス	Fito Paez	
製作総指揮	フィット・パエス アレハンドロ・クランシー	Fito Paez Alejandro Clancy	
共同製作	マテ・カンテロ ステファン・ソルラ	Mate Cantero Stephane Sorlat	
脚本	フィット・パエス アラン・パウルス	Fito Paez Alan Pauls	
撮影	アンドレス・マッソン	Andres Mazzon	
音楽	フィット・パエス ヘラルド・ガンディーニ	Fito Paez Gerardo Gandini	
出演	セシリア・ロス ガエル・ガルシア・ベルナル ルイス・シエンブロウスキー ドロレス・フォンシ カロラ・レイナ エクトル・アルテリオ チュンチューナ・ヴィラファーネ	Cecilia Roth Gael Garcia Bernal Luis Ziemrowsky Dolores Fonzi Carola Reyna Hector Alterio Chunchuna Villafane	カルメン グスタボ アレハンドロ アナ ロクサーナ カルメンの父 カルメンの母

